



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 嘉章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理担当 (氏名) 手戸 邦彦 TEL 03-5323-0231
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	73,033	3.3	1,307	△53.6	3,267	△43.3	3,165	△32.8
2025年3月期第3四半期	70,673	5.5	2,818	32.7	5,763	69.4	4,709	134.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △718百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 5,453百万円 (△6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	44.41	—
2025年3月期第3四半期	66.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	144,217	79,260	53.4
2025年3月期	148,540	81,428	53.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 76,957百万円 2025年3月期 79,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	2.6	3,100	△18.6	4,900	△11.4	3,800	0.3	53.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	71,298,100株	2025年3月期	71,256,476株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	5,059株	2025年3月期	4,595株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	71,273,827株	2025年3月期3Q	71,240,923株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調で推移しているものの、米国の通商政策の影響に加え、2025年10月に発足した現政権下での積極財政と金融緩和継続姿勢により、国債市場における長期金利の上昇及び円安による輸入物価上昇を端緒としたインフレーション加速の懸念が増大することにより、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、中南米における政権交代を端緒として発生した政治的混乱や、中国及び欧州経済の停滞、各国の通商政策動向による世界経済の悪化懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、一部地域において自動車需要回復の兆しが見られるものの、需要低迷が継続している地域もあり、受注は引き続き低調に推移しております。

当社グループは、日系主要顧客向けの販売は順調に推移し、欧州市場の停滞による外資主要顧客向けの販売の減少が緩和したことなどにより、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は730億33百万円（前年同期比3.3%の増収）となりました。

利益面につきましては、品質管理体制の強化に向けた対応とタイ工場における生産システムの更新に伴う対応により、第2四半期連結累計期間までの生産工場の稼働率は低調に推移しておりましたが、当四半期連結会計期間に入り高付加価値製品の増加やこれまでの諸改善施策が奏功し、収益環境が大きく改善したため、当第3四半期連結累計期間の営業利益は13億7百万円（前年同期比53.6%の減益）となりました。営業外収益では、前期は主にタイ子会社向け外貨建グループ内貸付金の為替影響が円対タイバーツで11.7%下落となり為替差益は29億12百万円を計上しましたが、当期は円対タイバーツで12.2%と下落幅が拡大したものの円対ユーロの大幅な下落によるグループ内外貨建債務の為替差益の減少により、当第3四半期連結累計期間の為替差益は20億95百万円となりました。このため、当第3四半期連結累計期間の経常利益は32億67百万円（前年同期比43.3%の減益）となりました。

特別利益では、保有資産の効率化及び財務体質の強化を図るため実施した投資有価証券の売却に伴う投資有価証券売却益を15億92百万円計上し、特別損失では、当社敷地内における環境対策に係る費用を見込むため環境対策引当金繰入額4億99百万円を計上いたしました。このため親会社株主に帰属する四半期純利益は31億65百万円（前年同期比32.8%の減益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(日本)

国内の自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は444億71百万円（前年同期比5.9%の増収）となりました。

利益面では、プロダクトミックスの変化に伴う高付加価値製品の減少や為替影響では円対米ドルの上昇により、第2四半期連結累計期間までのセグメント利益は低調に推移しておりましたが、当四半期連結会計期間に入り高付加価値製品の増加など収益環境が大きく改善し、セグメント利益は15億44百万円（前年同期比10.2%の増収）となりました。

(中国)

中国市場全体における自動車メーカーの販売は対前年比で伸長しているものの、一部のメーカーでは依然として厳しい販売状況が続いていることなどの影響により、車載向けの販売が減少し、売上高は128億21百万円（前年同期比7.8%の減収）となりました。

利益面では、前年度に実施した生産設備の合理化や中国2工場の経営の一体化による生産性向上の進展により、セグメント利益は18億5百万円（前年同期比62.4%の増収）となりました。

(東南アジア)

日系顧客の車載向けの販売及び家電の販売が好調に推移し、売上高は127億60百万円（前年同期比12.2%の増収）となりました。

利益面では、欧州市場の停滞による生産への影響、タイ工場生産システムの立ち上げ過程における調整対応による生産の遅れやタイ第三工場の立上費用、品質管理体制の強化に向けた対応のための費用が増加したことにより、第3四半期連結累計期間のセグメント損失は13億24百万円（前年同期は4億76百万円のセグメント利益）となりました。その中で当第3四半期連結会計期間のセグメント損失は、第1及び第2四半期連結会計期間で計上したセグメント損失より漸減するなど、これまで実施してきた諸施策により収益改善の兆しがみられました。

(欧米)

欧州の自動車販売台数が減少した影響により、車載向けの販売は減少し、売上高は29億80百万円（前年同期比12.0%の減収）となりました。

利益面では、車載向けの販売減少により、セグメント利益は2億2百万円（前年同期比6.9%の減益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、588億85百万円となりました。これは、運転資金調達のための借入により短期借入金が増加したものの、長期借入金の返済や1年内償還社債の償還、配当金の支払いにより現金及び預金が50億63百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、853億13百万円となりました。これは、保有資産の効率化及び財務体質の強化を図るため実施した投資有価証券の売却により、投資有価証券が9億29百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、1,442億17百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.3%増加し、358億22百万円となりました。これは、主に運転資金調達のための借入により短期借入金が増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.8%減少し、291億35百万円となりました。これは、主に長期借入金、その返済及び1年内返済予定の長期借入金に振替を行ったことにより44億28百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し、649億57百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、792億60百万円となりました。これは、主に利益剰余金が17億40百万円増加したものの、為替換算調整勘定が35億33百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月5日に公表いたしました通期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、2026年2月6日付「営業外収益(為替差益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,193	17,129
受取手形及び売掛金	17,847	19,779
電子記録債権	1,782	1,867
商品及び製品	10,141	9,318
仕掛品	5,088	4,931
原材料及び貯蔵品	3,337	3,965
その他	1,993	1,894
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	62,382	58,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,832	12,637
機械装置及び運搬具（純額）	20,998	22,014
土地	7,028	7,025
建設仮勘定	33,659	32,871
その他（純額）	1,972	2,010
有形固定資産合計	76,492	76,559
無形固定資産		
のれん	15	11
その他	979	1,353
無形固定資産合計	995	1,364
投資その他の資産		
投資有価証券	4,041	3,111
退職給付に係る資産	2,114	2,154
その他	2,510	2,145
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	8,643	7,388
固定資産合計	86,131	85,313
繰延資産		
社債発行費	27	18
繰延資産合計	27	18
資産合計	148,540	144,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,540	13,084
電子記録債務	2,469	2,052
短期借入金	6,000	8,750
1年内償還予定の社債	773	—
1年内返済予定の長期借入金	6,049	5,524
未払法人税等	521	544
賞与引当金	726	892
製品保証引当金	37	33
環境対策引当金	—	300
その他	5,568	4,641
流動負債合計	33,686	35,822
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	28,295	23,867
退職給付に係る負債	175	259
資産除去債務	512	467
環境対策引当金	—	199
その他	1,443	1,342
固定負債合計	33,425	29,135
負債合計	67,112	64,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,102	24,109
資本剰余金	18,758	18,765
利益剰余金	19,959	21,699
自己株式	△3	△3
株主資本合計	62,817	64,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,880	1,550
為替換算調整勘定	13,775	10,242
退職給付に係る調整累計額	638	593
その他の包括利益累計額合計	16,294	12,385
非支配株主持分	2,316	2,302
純資産合計	81,428	79,260
負債純資産合計	148,540	144,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	70,673	73,033
売上原価	59,139	62,940
売上総利益	11,534	10,093
販売費及び一般管理費	8,715	8,785
営業利益	2,818	1,307
営業外収益		
受取利息	59	123
受取配当金	127	129
為替差益	2,912	2,095
その他	287	253
営業外収益合計	3,388	2,601
営業外費用		
支払利息	318	467
支払手数料	15	20
その他	109	153
営業外費用合計	442	641
経常利益	5,763	3,267
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	15	1,592
特別利益合計	17	1,594
特別損失		
固定資産売却損	21	20
固定資産除却損	225	163
減損損失	18	—
環境対策引当金繰入額	—	499
特別損失合計	265	683
税金等調整前四半期純利益	5,514	4,179
法人税等	725	905
四半期純利益	4,789	3,273
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	108
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,709	3,165

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,789	3,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△329
為替換算調整勘定	763	△3,616
退職給付に係る調整額	△46	△45
その他の包括利益合計	663	△3,992
四半期包括利益	5,453	△718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,312	△743
非支配株主に係る四半期包括利益	140	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,400百万円	4,583百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	42,007	13,907	11,370	3,387	70,673	—	70,673
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	42,007	13,907	11,370	3,387	70,673	—	70,673
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,042	11,734	14,409	21	27,208	△27,208	—
計	43,049	25,642	25,780	3,409	97,881	△27,208	70,673
セグメント利益	1,720	1,112	476	217	3,525	△707	2,818

(注) 1. セグメント利益の調整額△707百万円には、セグメント間取引消去357百万円、全社費用△1,064百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント間取引消去の報告セグメント別の内訳は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	日本	中国	東南 アジア	欧米	計
セグメント間取引消去	△7	362	2	—	357

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	44,471	12,821	12,760	2,980	73,033	—	73,033
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	44,471	12,821	12,760	2,980	73,033	—	73,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,197	13,605	13,473	90	28,366	△28,366	—
計	45,668	26,427	26,234	3,070	101,400	△28,366	73,033
セグメント利益又は損失 (△)	1,544	1,805	△1,324	202	2,228	△920	1,307

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△920百万円には、セグメント間取引消去336百万円、全社費用△1,257百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント間取引消去の報告セグメント別の内訳は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	日本	中国	東南 アジア	欧米	計
セグメント間取引消去	2	64	269	—	336

2. 当社はより適切な経営判断のため、当連結会計年度から、これまでの業績管理方法に加え、セグメント間取引消去後の業績での管理も行うこととしたため、セグメント間取引消去の報告セグメント別の内訳を記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても記載しております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。